

令和2年度シラバス (国語)

学番中等3 新潟県立燕中等教育学校

教科(科目)	国語(国語総合)	単位数	5単位	学年(コース)	4学年
使用教科書	東京書籍『国語総合 現代文編』・『国語総合 古典編』				
副教材等	第一学習社『新訂総合国語便覧』、第一学習社『新版四訂完全マスター古典文法』、 尚文出版『必携新明説漢文』、尚文出版『完全頻度順入試対策ベストレクション古文単語325 改訂版』				

1 学習目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

2 指導の重点

- ・大学進学を想定している生徒が大多数を占めることから、
- ① 基本的な言語事項について、表現方法や文脈を踏まえた活用ができる正確な習得を目指します。
- ② 文章を的確に理解した上で、根拠を含む論理性を備えた思考力を身につけることを目指します。
- ③ 自分の思考を的確に表現し、積極的に他者とのコミュニケーションを図る態度を育てます。
- ④ 発展的な知識教養にも触れ、自発的に見識を深める姿勢の習得を目指します。

3 学習計画

【現代文】

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	評論	技術が道徳を代行する時	<ul style="list-style-type: none"> ・評論に述べられた内容を的確に理解し、筆者の考え方を読み取る。 ・科学技術の発展と人間性との関係について関心を持ち、考える態度を養う。 * 目指すべき道徳のあり方について意見を述べる。 	5	授業観察 課題点検 定期考査
5	小説	羅生門	<ul style="list-style-type: none"> ・小説の基本的な読解方法を習得する。 ・小説に描かれた登場人物・情景・心情等を、表現に即して読み味わう。 ・登場人物の心情の変化について、場面の展開に即して考える。 ・時代小説という形の中に普遍的な人間心理が描かれていることを理解する。 * 登場人物の発言について討論する。 	8	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査
6					
7	評論 随想	言葉は「ものの名前」ではない 蝉と日本語	<ul style="list-style-type: none"> ・評論と随想それぞれで述べられた内容を的確に理解し、筆者の考え方を読み取る。 ・評論と随想それぞれの筆者における、言語についての考え方を比較検討し、言語について関心を持ち、考える態度を養う。 	6 4	授業観察 課題点検 定期考査
8	随想	少女たちの「ひろしま」	<ul style="list-style-type: none"> ・作者のものの見方や感じ方、表現の仕方の特色に注意しながら随想(随筆・エッセー)を読む。 ・戦争と人間、読書に対する態度について書かれた文章を読み、考えを深める。 	8	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査
9	小説	城の崎にて	<ul style="list-style-type: none"> ・小説に描かれた出来事や登場人物の心情等を、表現に即して読み取る。 ・生と死や自分という存在について書かれた小説を読み、考えを深める。 	8	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査
10	評論	メディアがつくる身体	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成や展開に注意して評論を読み、筆者の意図を捉え、自ら考える態度を養う。 ・言語と文化、広告、生物多様性について論じた評論を読み、それぞれの問題について考えを深める。 * 身近な問題について、意見文を書く。 * テーマを決めて調査をし、その結果を発表する。 	8	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査

11 12 1 2 3	小説	富嶽百景	<ul style="list-style-type: none"> ・話の展開に注意して小説を読み、登場人物の感じ方や生き方について考える。 ・それぞれの場面の情景や登場人物の心情の変化に留意して、小説を読み味わう。 ・文章の構成や展開に注意して評論を読み、筆者の意図を捉え、自ら考える態度を養う。 ・言語と文化、広告、生物多様性について論じた評論を読み、それぞれの問題について考えを深める。 	8	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査
	評論	現代日本の開化 ラップトップ抱えた「石器人」	<ul style="list-style-type: none"> ・近代の文豪の評論(講演)を読み、その主張を理解する。 ・明治期以降の日本の近代化の様相について理解を深める。 ・現代の日本及び日本人の抱える問題点との関連を探る。 	4 6	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査
	詩歌	小景異情 汚れつちまつた悲しみに Iwasbom 自分の感受性くらい 十五の心 白牡丹	<ul style="list-style-type: none"> ・詩、短歌、俳句について、それぞれの形式やリズム、表現方法に注意して読む。 ・詩歌に親しみ、そこに描かれた世界を読み味わう。 	5	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査

計 70 時間 (50 分授業)

【古典】

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	説話	検非違使忠明 大江山の歌	<ul style="list-style-type: none"> ・教訓やおかしみを含む説話を読み、古文に親しむ。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・助動詞・助詞について理解し、口語訳に生かす。 ・敬語について理解する。 	8	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査
5	寓話	朝三暮四 塞翁馬	<ul style="list-style-type: none"> ・平易な文章の漢文に慣れ、訓読のきまりについて確認する。 ・中国の寓話に特徴的な簡潔な表現を味わい、そこから生まれた故事成語・成句等を正しく理解する。 ・文章の内容を、話の展開に即して理解する。 ・基本句形、語彙の読みと意味を理解する。 	8	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査
6 7	随筆	徒然草 丹波に出雲といふ所あり ある人、弓射ることを習ふに	<ul style="list-style-type: none"> ・随筆を読んで、人間、社会等に対する作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 ・表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。 ・助動詞・助詞について理解し、口語訳に生かす。 	12	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査
8 9	歌物語	伊勢物語 茶川 東下り	<ul style="list-style-type: none"> ・歌物語を読んで、古文に親しむ。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・歌物語における和歌の役割を理解する。 ・助動詞・助詞について理解し、口語訳に生かす。 ・和歌を味読し、修辞技巧を理解する。 ・係り結びの知識を確認する 	14	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査

10 11 12 1 2 3	10	詩歌	漢詩	<ul style="list-style-type: none"> 中国文学の精華である唐詩を読み味わうことにより、代表的な詩人についての文学史的知識を身につけ、漢詩への関心を深める。 詩人の自然観や人生観が詩のどのようによまれているかを考える。 それぞれの詩について、詩形・押韻・構成等の漢詩のさまりについて理解する。 	8	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査	
	11	日記	土佐日記 馬のはなむけ 帰京	<ul style="list-style-type: none"> 日記を読んで、人間・社会等に対する作者の思想や感情を読み取る。 内容を展開に即して的確にとらえる。 文章の表現上の特色を理解する。 助動詞の連接について理解する。 	12	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査	
	12	史話	管鮑之交 鶏口牛後	<ul style="list-style-type: none"> 文章を繰り返し読み、訓読のリズムをつかみながら、あらすじを理解する。 基本句形、語彙の読み方と意味とを理解する。 史話に描かれた情景や人物の心情等を表現に即して読み味わう。 話の展開に沿って、登場人物の言動や心情を考える。 	12	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査	
	1	2	詩歌	和歌	<ul style="list-style-type: none"> 和歌の優れた表現に親しむ。 思想・感情・情景を読み取る。 和歌の修辞技巧、時代背景、表現・語法上の特色を理解する。 	6	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査
	3	軍記物語	平家物語 木曾の最期	<ul style="list-style-type: none"> 軍記物語を読んで、古文に親しむ。 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。 音便について理解する。 敬語について理解する。 	15	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査	
		思想	論語	<ul style="list-style-type: none"> 中国の思想を代表する儒家思想の概略をとらえる。 本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 比較・否定・疑問・禁止・反語・仮定・限定・強意の読みと意味を理解する。 孔子や孟子の思想について理解する。 孔子や孟子の思想が、現代においてどのような意味をもっているかを考える。 	10	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査	

計 105 時間 (50 分授業)

4 課題・提出物等

- 家庭学習用の課題を適宜指示します。
- 各単元の特性に応じた、発表やレポート作成等の時間を設定しています。
- 長期休業中の課題について別途指示します。

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。

(関心・意欲・態度)	(思考・判断・表現) (技能)			(知識・理解)
関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字等について理解し、知識を身に付けている。
以上の観点を踏まえ、 ・授業への参加姿勢 ・各定期考査の成績 ・課題の提出状況 などから、総合的に評価します。				

6 担当者からの一言

- ・授業を自分の知識・能力として身につけるために、主体的に予習と復習を進めること。
 - ・書籍や新聞などに広く触れ、興味関心のあることについての語彙を増やしていくこと。
 - ・他者との対話を通して、自分の意見を言語化していくこと。
- 国語は力を伸ばすのに時間がかかる教科ですが、上記の3点について、手を抜かずに自己分析を繰り返していくことが大切です。

(担当：須藤)